

# HAND IN HAND

はんど いん はんど

## おたよりの お返事にかえて

○ みなさま、おたより 本当にありがとうございます。

○ この小さな機織紙も 生まれ1年が経ちました。これからなんとか  
続けていけるような自信がついたので マスコミの人に話したところ、いくつか  
取材があり、毎日新聞に紹介され、大きな反響がありました。お手紙が  
楽しく、全口に入稿も こういう会を望んでおられる方が多いことに気が  
きました。「私の町でも会合があればぜひ出席したい」「同じ立場の  
人と話したい」という声もいくつかあり、これはすぐにも支部をつくりたい  
と思つたほどです。みなさんの中で、連絡先になつてもいいと思つた方、  
こちらまでご一報くださいませんか。〇月〇日〇時に〇の集判おん  
か。とそんなお便りくださいれば 次の号に載せます。それを見て集  
まったおたよりで、いつ、どこで、これから集まるか、話しあえると思つた  
のです。できれば 東京の会の世話役や私もかけつけたらいいと思います。  
このようにして、少しずつ輪が広がり、一人づつ悩んでいる人が友人を  
つくり、悩みから解放できれば ずばらしいと思います。

○ 今はまだ この機織紙も 粗末なものですが、いづれ日本で初め  
の 高価格ジャーナルに 発展させたいと思つています。これさえ  
読めば、再就職の情報は、母子家庭と父子家庭がより楽しく  
くらしていけるための知恵も得られるという様な雑誌になればと  
願っています。そのためには私と編集部も頑張る献面の充実  
に努力するつもりですが、ぜひみなさまも どんどんご要望をお寄せ下さい。

○ 父子家庭の方からお手紙が来ています。6月頃にもご一度、男性  
まじえた会を持つかという計画もあります。ご意見お待ちしています。

○ 暖かいのは日中だけ、まだ冷たいのが厳しいです。どうぞおからだのため、

1982.3.3 ひなまつりに。

まどか よりこ

逐次刊行物

13.2.14

国立女性教育会館

女性教育センター

13

# 手紙から。



はんどいんはんだの会が、2月4日に毎日新聞で関東をかりまりに、北海道・九州・関西で紹介されました。購読希望者が23名、ふえました。オマヒキはなな便りが日本中から、毎日のように届いていきます。

## ☆地方から

新潟から。「私は、八年前に離婚し、子供(長女19才・長男14才)を引きとり育ててあります。雪深い田舎でも最近、離婚の話がまきまきですが、八年前にはどこも有身のせまい思ひでした。私は喫茶店とスナックを経営しております。東京からお嫁に来て、そのまま帰らず、現在に至っております。秋田からは、「秋田の片田舎に住んでいる者です。33才。一昨年協議離婚をし、現在娘(6才)とくらしています。こんな田舎にも語り合える開かれた場所があればと思いつつと、それぞれ自分のカフの中にどうにも生活してゐるものが、現状です。さかい、ずと共稼ぎでしたので、現在も働いて気楽(?)にやっています。離婚の時の多大なるエネルギーと、後遺症が、まだまだ尾をひいて、娘と私に、重く

のしかかっています。自分が強くなりなれば、叱咤激励しながら、周囲に助けられて、くらししています。

☆今回は、男性からの便りが、たくさんありました。弁護士・調停委員の方が、勉強の為に、結婚している人は、妻の立場というものを、あじゆる面から知りたい。近く仲間入り(片親の)するが、おまへのおまん家出したやう。などのいやみをいわれ、サラ金業者の悪質な取立を弁護士さんたちに守られながら、いっしょうけんめい生活しています。というもの。あるいは、全国の離婚女性で、母親と娘の二人暮らしの方で、自分の家庭にさぐわしい方がいたら、長男と自分と一度に結婚したい夢があります。等、ハートナーを紹介してほしいという方、文通をしたという方もありました。

☆そして年輩の婦人は、「私は、離婚体験者ですが、二人の息子を成人させた現在、「ニコニコ離婚講座」など想像できなかった当時をふりかえり、時代の変遷を今一度、女性として、母として

☆生活におわれるだけの毎日だけども、人には様々な生き方がある。私には、私の生き方がある。さうわかっているけど、なぜか自信がなくて、どこか不安で……でも、こんな会があると知っただけで、とても心強いのです。という声がありました。

☆最後に、東京の西多摩かりのお便りです。「私は26才で結婚、32才で別居、41才で離婚した者です。現在58才。当時「ヤレヤレ離婚者グループ」を作らしてみようと努力しましたが、唯の努力で終わりました。独身でも結婚していても、死別していても、男も女もとりかえ生きているのです。ウツをついたり、イバったり、泣いたり、強がりをみせたりして、だれもみまくれない一人芝居を演じて、人生をなしくずしにへらしこゆくのみすね。それではあまりにもさびしい。聞いてみて、楽しい誤解をしようとして、楽しい誤解のしようもない大きな宿命みたいなものですね。このまぶしい宿命に生きることは？結婚とは？離婚とは？

☆支那に立ち寄り、くれた方もありました。

☆支那に立ち寄り、くれた方もありました。

☆生活におわれるだけの毎日だけども、人には様々な生き方がある。私には、私の生き方がある。さうわかっているけど、なぜか自信がなくて、どこか不安で……でも、こんな会があると知っただけで、とても心強いのです。という声がありました。

☆最後に、東京の西多摩かりのお便りです。「私は26才で結婚、32才で別居、41才で離婚した者です。現在58才。当時「ヤレヤレ離婚者グループ」を作らしてみようと努力しましたが、唯の努力で終わりました。独身でも結婚していても、死別していても、男も女もとりかえ生きているのです。ウツをついたり、イバったり、泣いたり、強がりをみせたりして、だれもみまくれない一人芝居を演じて、人生をなしくずしにへらしこゆくのみすね。それではあまりにもさびしい。聞いてみて、楽しい誤解をしようとして、楽しい誤解のしようもない大きな宿命みたいなものですね。このまぶしい宿命に生きることは？結婚とは？離婚とは？

☆そして年輩の婦人は、「私は、離婚体験者ですが、二人の息子を成人させた現在、「ニコニコ離婚講座」など想像できなかった当時をふりかえり、時代の変遷を今一度、女性として、母として

☆今回は、男性からの便りが、たくさんありました。弁護士・調停委員の方が、勉強の為に、結婚している人は、妻の立場というものを、あじゆる面から知りたい。近く仲間入り(片親の)するが、おまへのおまん家出したやう。などのいやみをいわれ、サラ金業者の悪質な取立を弁護士さんたちに守られながら、いっしょうけんめい生活しています。というもの。あるいは、全国の離婚女性で、母親と娘の二人暮らしの方で、自分の家庭にさぐわしい方がいたら、長男と自分と一度に結婚したい夢があります。等、ハートナーを紹介してほしいという方、文通をしたという方もありました。

☆そして年輩の婦人は、「私は、離婚体験者ですが、二人の息子を成人させた現在、「ニコニコ離婚講座」など想像できなかった当時をふりかえり、時代の変遷を今一度、女性として、母として

☆生活におわれるだけの毎日だけども、人には様々な生き方がある。私には、私の生き方がある。さうわかっているけど、なぜか自信がなくて、どこか不安で……でも、こんな会があると知っただけで、とても心強いのです。という声がありました。

☆最後に、東京の西多摩かりのお便りです。「私は26才で結婚、32才で別居、41才で離婚した者です。現在58才。当時「ヤレヤレ離婚者グループ」を作らしてみようと努力しましたが、唯の努力で終わりました。独身でも結婚していても、死別していても、男も女もとりかえ生きているのです。ウツをついたり、イバったり、泣いたり、強がりをみせたりして、だれもみまくれない一人芝居を演じて、人生をなしくずしにへらしこゆくのみすね。それではあまりにもさびしい。聞いてみて、楽しい誤解をしようとして、楽しい誤解のしようもない大きな宿命みたいなものですね。このまぶしい宿命に生きることは？結婚とは？離婚とは？

# セックスのこと

10年の結婚生活のうち、離婚して3人の子供とくりして9ヶ月になりまます。

今、男のいない生活に慣れてしまつて、男性とくらすのがめんどろ、という気持ちです。性的にも、人に言わせると、それはセックスの本当のよこびを知らないからだとつです。それは、本当かとしれません。結婚して丸10年たつたのですが一例えは、セックスがうまくい、ていれは、彼にしても、私にとつても、少しは別れる時考えたかとしれなけれど、私たち夫婦には、セックスは、たしした問題ではありませんでした。

子供は、父親という男性をほしがつていても、母親の私は、男なんてめんどろ、ない方がいと思つてゐるありさまです。で、女性も母親である時代をすぢたあとは、同伴者としての異性がほしくなつて、もいひのじゃないか、それもセックスなしの。でも男の人にしてみれば、どんな関係でも、セックスなしといふのは考えられないのではないかしら——といふ男性が現れた時の事を思つて、考へてしまつたのです。

そして、今後、性的なことがなくとも、少しイライラするだけです。私のように、しまいさう、と思つたのです。私の様に、仕事と育児におられるものにとつて、女が、性的なかわりをもつことは、ひどくむずかしいことです。

子供が3人いるので、自分の為の時間が足りない上、それに慣れくると、女として、性的に男をもとめる気持ちになくなつてしまつたのではないか、と思つたのです。

30代前半の離婚した女性から、こんな手紙が届きました。男なんかいらぬ、といひながら、男をもとめる気持ちもあるのだという、正直な気持ちがありわれて、思ひます。女の性は、客観的にとらえにくいことです。そして、今まで、性にふれた手紙をきたことがなかつたので、これは、今後、おなさんと共に性を語る上での、たいへんよいきっかけになると思ひました。近々、性についてのアンケートを計画中です。その上前に、おなさまからの、「イライラ解消法」や、男性とのうまくつきまとい方・セックスなしでも平気、いろいろなさ声があつると、とても参考になります。お手紙を、お待ちしております。男性の方も、お願いいたします。

## 母と子の対話

### 離婚の子どもたち



ボクが、うちの前でおなさんでいると、男の人が、ボクの名まえを呼んだ。気のせいかなと思つてあんなに泣いたら、またボクの名まえをよんで、ボクのこと、肩をたたくんだ。「だあれ？」とよくと、「僕は山田太郎、山田太郎」と名まえを言ふんだよね。足をきたたり、きたことのある運動靴だった。それで、おなさんだ、ってわかつたんだよね。おなさんは、デパートに行つたか、何か買ってあげると、というから、ボクは、「おなさんに叱られるからいいよ」と言った。「じゃあ、後樂園行こうか。」約束があるんだ。だって、友だちとつりに行く約束があったんだ。ボクが、泣いて家に帰つて、おなさんがいたよ。と、いったから、おなさんとおじいちゃん、おばあちゃんもびくりにしたんだ。で、おな、泣いたのは、おなさんがきたからじゃなくて、途中で、大きらいな、大においかけられたからなんだよ。そういつたら、みんな、ホッと顔を顔してたけど、なんで？

○ちんちん♡小学校一年生  
おなさんと弟の三人でおなさんの実家で、別居して一年半。

# 第32回 ニコニコ離婚講座のお知らせ

〔期日〕3月29日(月)午後1時半～4時

〔会場〕青山ラ・ミアビル5F(地下鉄銀座線表参道駅下車、A5出口前)

〔受講料〕500円 (定員)100名

〔講座内容〕1部 『夫婦の危機』 円より子

2部 『離婚に必要な法律と手続き』 金住典子弁護士

3部 『質問とディスカッション』

## “はんどいんはんど”へのおさそい

★オ10回はんどいんはんどの会

〔日時〕3月18日(木)午後6時半～8時

〔場所〕新大寺町ビル1階

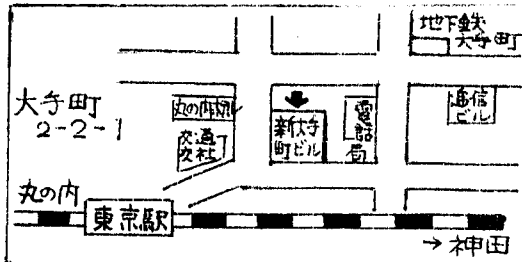
『サンパティック・サロン』

〔会費〕1000円 (定員)12名

〔内容〕前回に引き続き、「主婦でなだう」というテーマで話し合います。

〔申し込み方法〕3日前までに、TEL. 402-9354  
受け付け、AM11:00～PM5:00

★オ9回の会合では、白熱の議論で、1時間30分が、アッという間に過ぎてしまいました。時間があまりありませんので、6時半はじまりを厳守して下さい。よろしく。



## 編集後記

3月号の『児童心理』

(金子書房 ¥680)の中に

「離婚と子ども—子どもに及ぼす影響とその指導」という題で、立教大学助教授・佐藤悦子さんが、興味深い話を書いています。そして、父子家庭を描いた物語に、『アルフォンスのヘリコプター』(グニッラ・ベリストロム作・借成社 ¥680)があります。また、子どもがよむ、離婚の本として、『どうして』(文・片岡輝・ぼるん舎 ¥1000)があります。パパとママは、とても仲が悪くて、別れることになり、女の子は、パパとくらすことになるのです。読み終えて、胸が、つまりました。私たち、「はんどいんはんど」では、もともとがうかたちの『離婚と子どもの本』を作ろうとしているところです。

2月には、お手紙・話をまかせてくれる協力者がいました。より多くの助力が必要です。「話ならできそう」という方、連絡をして下さい。お待ちしております。

先月アンケートを、送ったみなさまへ。お手紙ですが、協力をお願いします。

## 購読方法

「はんどいんはんど」定期購読の方法がわかりました。1981年1月に、オ1号を作ってから、今までずっと赤字が続いておりました。たいへん心苦しいのですが、今後は、定期購読半年分1000円・1年分2000円になります。毎月送っていた「はんどいんはんど」が転居先不明で戻ってくる場合があります。姓が変わったり、転居の時には、お知らせ下さい。新しくお申し込みの方も、住所は正確に書いて下さい。

▼ 1982年3月7日  
ニコニコ離婚講座発行

▼ 発行人・円より子 ★ 編集人・平澤三郎

〒150  
東京都渋谷区神宮前3-33-2  
原宿ハイム202 オフィス・ヨリック